

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月29日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社K V K
 コード番号 6484 URL <http://www.kvk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末松 正幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 佐野 孝之 TEL 058-293-0007
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,142	3.6	477	10.2	558	7.4	371	5.5
25年3月期第1四半期	5,930	1.0	433	2.6	520	3.2	352	18.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 471百万円 (62.6%) 25年3月期第1四半期 289百万円 (8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	22.65	21.99
25年3月期第1四半期	21.49	21.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,652	13,227	63.7
25年3月期	20,936	12,904	61.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,146百万円 25年3月期 12,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	9.00	-	9.00	18.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)	-	9.00	-	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,100	3.1	1,050	3.6	1,150	0.2	700	7.7	42.63
通期	24,600	1.3	2,300	0.6	2,450	1.8	1,500	2.6	91.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
以外の会計方針の変更： 有
会計上の見積りの変更： 有
修正再表示： 無
（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	16,531,157株	25年3月期	16,531,157株
期末自己株式数	26年3月期1Q	110,942株	25年3月期	109,999株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	16,420,586株	25年3月期1Q	16,400,645株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P.2
(1) 経営成績に関する説明	P.2
(2) 財政状態に関する説明	P.2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P.2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P.3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P.3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P.3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P.3
3. 四半期連結財務諸表	P.4
(1) 四半期連結貸借対照表	P.4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P.6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P.6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P.7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P.8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P.9
(継続企業の前提に関する注記)	P.9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P.9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、経済政策や金融政策の効果に対する期待感から円安・株高が進み、一部において緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、海外経済の停滞や円安による原油・素材価格の上昇など国内景気の下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、来年の消費税率引き上げ、金利の先高観により新設住宅着工戸数は緩やかな改善傾向が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、水栓金具のトップメーカーをめざし、中期経営計画「Innovation & Growth」の基本戦略に基づき、新たな成長基盤づくりに取り組んでおります。

商品面では、お客様視点に立ち、安全・安心、快適性、環境などのニーズや生活スタイルの変化に対応した商品開発を推進し、昨年のキッチンタイプに続き、洗面タイプの「エレバー水栓」や既存の水栓の交換に便利な「マルチリフォーム水栓」の充実に取り組んでおります。

営業面では、4支社14営業所1出張所、お客様相談センター、そして3つの物流拠点を連携させ、よりきめ細かな地域密着型の営業活動に取り組むとともに、防災設備市場、パブリック市場など新需要の掘り起こしを推し進めております。

生産面では、あらゆる無駄を排除し経営効率の向上を図るため、KPS(KVK Production System)活動を推し進めております。物流改革を基軸に、在庫の持ち方や受注から調達・生産・出荷までのモノと情報の見える化を追求し、生産性・稼働率のアップ、部品の共通化・モジュール化など品種・量の変化に応じて、生産品目や人の配置を迅速かつ柔軟に組み替えられる高品質でコスト競争力のある生産体制づくりに、大連工場と一体となって取り組んでまいりました。

こうした諸施策の結果、当第1四半期の連結業績につきましては、拡販活動に注力し、売上高は61億42百万円(前年同期比3.6%増)となりました。利益面につきましては、円安に伴い原材料価格が上昇傾向にあるなか、売上高の増加に加え、グループ一丸となって、調達コストの削減、経費の削減などトータルのコスト管理を強化し、引き続き固定費・変動費の引き下げに努めたことから、営業利益は4億77百万円(前年同期比10.2%増)、経常利益は5億58百万円(前年同期比7.4%増)、四半期純利益は3億71百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べ2億83百万円減少し、206億52百万円となりました。これは主にたな卸資産が92百万円、有形固定資産が1億53百万円増加した一方、現金及び預金が5億20百万円、受取手形及び売掛金が1億31百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億6百万円減少し、74億25百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が65百万円、短期借入金が1億20百万円、未払法人税等が3億14百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億22百万円増加し、132億27百万円となりました。これは主に四半期純利益3億71百万円及び剰余金の配当1億47百万円によるものです。この結果、自己資本比率は63.7%(前連結会計年度末は61.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、実体経済の回復に向けた兆しが見え始めてまいりましたが、急激な為替の変動、原材料の高騰、来年の消費税率引き上げに伴う影響も予想され、引き続き不透明感が続くものと考えられ、その対応が重要となっております。

こうしたなか、当社グループは、中期経営計画の最終年度にあたり、目標達成のため、経済環境や社会構造の変化を成長機会と捉え、“挑戦と創造”で、各種の諸施策を一步一步着実に実行し、外部環境に左右されない、筋肉質で柔軟な小回りの利いた経営体質づくりに挑戦し続けてまいります。

なお、現時点において、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法は主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当連結会計年度内に、当社の主要工場である富加工場内にめっき設備を導入し、一貫生産工場となります。この設備投資を契機に固定資産管理システムを見直し、過去の有形固定資産の処分・更新実績や生産設備の使用状況等、保有している有形固定資産の内容を精査し、減価償却方法を検討した結果、生産設備は耐用年数にわたり長期安定的に稼働していること及び急激な技術的、経済的陳腐化は見られないことが確認されました。今後も安定的な使用が見込まれることから、定額法の方が有形固定資産の実態をより適切に反映できるものと判断したものであります。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,370,796	1,850,016
受取手形及び売掛金	9,255,148	9,123,718
商品及び製品	707,000	872,829
仕掛品	650,249	652,589
原材料及び貯蔵品	1,214,288	1,138,525
その他	522,421	514,024
貸倒引当金	87,020	14,420
流動資産合計	14,632,884	14,137,283
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,602,187	1,695,524
土地	1,889,114	1,889,114
その他(純額)	2,149,951	2,209,886
有形固定資産合計	5,641,252	5,794,524
無形固定資産		
	105,368	107,400
投資その他の資産		
投資有価証券	292,357	289,037
その他	405,089	464,953
貸倒引当金	140,485	140,485
投資その他の資産合計	556,961	613,505
固定資産合計	6,303,582	6,515,430
資産合計	20,936,467	20,652,713

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,710,511	4,644,820
短期借入金	560,000	440,000
未払法人税等	536,808	221,848
その他	1,827,095	1,699,795
流動負債合計	7,634,415	7,006,465
固定負債		
退職給付引当金	210,712	194,554
その他	186,779	224,330
固定負債合計	397,492	418,885
負債合計	8,031,907	7,425,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,831,425	2,831,425
資本剰余金	2,999,825	2,999,825
利益剰余金	7,144,775	7,368,883
自己株式	26,404	27,066
株主資本合計	12,949,621	13,173,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,813	20,062
為替換算調整勘定	149,018	46,910
その他の包括利益累計額合計	126,205	26,848
新株予約権	81,144	81,144
純資産合計	12,904,559	13,227,362
負債純資産合計	20,936,467	20,652,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,930,949	6,142,092
売上原価	4,430,692	4,529,240
売上総利益	1,500,257	1,612,852
販売費及び一般管理費	1,066,753	1,135,023
営業利益	433,503	477,828
営業外収益		
受取利息	217	181
受取配当金	2,494	2,067
負ののれん償却額	16,618	-
為替差益	7,356	-
貸倒引当金戻入額	45,330	72,600
その他	26,591	30,006
営業外収益合計	98,609	104,856
営業外費用		
支払利息	2,294	701
売上割引	8,999	9,365
為替差損	-	12,829
その他	432	1,137
営業外費用合計	11,725	24,032
経常利益	520,386	558,651
特別利益		
固定資産売却益	446	-
特別利益合計	446	-
特別損失		
固定資産売却損	30	-
固定資産除却損	1,116	1,763
特別損失合計	1,146	1,763
税金等調整前四半期純利益	519,686	556,888
法人税、住民税及び事業税	185,149	220,600
法人税等調整額	17,959	35,609
法人税等合計	167,189	184,990
少数株主損益調整前四半期純利益	352,496	371,898
四半期純利益	352,496	371,898

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	352,496	371,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,082	2,750
為替換算調整勘定	53,530	102,108
その他の包括利益合計	62,612	99,357
四半期包括利益	289,884	471,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	289,884	471,255

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	519,686	556,888
減価償却費	140,184	142,134
負ののれん償却額	16,618	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,361	16,157
貸倒引当金の増減額(は減少)	45,330	72,600
受取利息及び受取配当金	2,901	2,331
支払利息	11,293	10,066
為替差損益(は益)	6,632	10,463
有形固定資産売却損益(は益)	415	-
有形固定資産除却損	1,116	1,763
売上債権の増減額(は増加)	8,537	93,630
たな卸資産の増減額(は増加)	181,643	55,276
仕入債務の増減額(は減少)	182,632	15,726
その他の資産の増減額(は増加)	10,077	7,961
その他の負債の増減額(は減少)	154,086	230,189
小計	454,559	414,704
利息及び配当金の受取額	3,048	2,369
利息の支払額	10,712	9,844
法人税等の支払額	528,946	525,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,050	117,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	191,594	146,913
有形固定資産の売却による収入	519	-
投資有価証券の取得による支出	898	898
その他の支出	5,810	7,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	197,784	154,888
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	180,000	120,000
リース債務の返済による支出	12,094	11,496
ストックオプションの行使による収入	39	-
自己株式の取得による支出	-	662
配当金の支払額	103,679	135,493
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,264	267,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,182	19,694
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	227,751	520,780
現金及び現金同等物の期首残高	1,631,852	2,370,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,404,100	1,850,016

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。